

- |  |                  |
|--|------------------|
| 7. 第2次大戦前の人口動態統計について                             | 高橋 眞一 (神戸大学)     |
| 8. アジア諸国における2つのセンサス人口に基づく出生率及び死亡率の推計—POPSYNを用いて— | 南條 善治 (東北学院大学)   |
| 9. 江戸後期における農業労働と牧畜の利用                            | 重松 峻夫 (福岡大学)     |
| 10. 19世紀日本の出生力と乳児死亡率—北関東農村の事例から—                 | 吉永 一彦 (福岡大学)     |
| 11. カンティロンの人口経済モデル                               | 石原 正令 (関東学園大学)   |
| 12. 我が国の人的資源開発におけるコスト・ベネフィット分析について               | 鬼頭 宏 (上智大学)      |
| 13. 明治期以降におけるわが国の消費水準の推移                         | 和田 光平 (中央大学)     |
| 14. 消費人口の分類                                      | 案浦 崇 (松蔭女子短期大学)  |
| 15. 日・英の生命表に関する比較的研究 (その2)                       | 新田 功 (明治大学)      |
| 16. エイズと人口学                                      | 今井 孝平 (中央大学)     |
| 17. 人口移動と平均寿命との関係について—埼玉県を事例とした考察—               | 飯淵 康雄 (琉球大学)     |
| 18. 地域間人口移動パターンの特性                               | 稲葉 寿 (人口問題研究所)   |
| 19. 青年人口の移動歴の分析                                  | 飯坂 正弘 (農林水産省)    |
| 20. わが国の人口移動統計の現状と整備の方向                          | 西岡 八郎 (人口問題研究所)  |
| 21. カザフスタン共和国の人口問題                               | 酒井 高正 (奈良大学)     |
| 22. インド人口転換における州間格差                              | 藤田 峯三 (総務庁)      |
| 23. 開発途上諸国における母乳哺育の動向と要因                         | 塩田 長英 (明海大学)     |
| 24. 人口増加と土地利用の変化—パプアニューギニアの調査から—                 | 西川由比子 (尚絅学院短期大学) |
| 25. パプアニューギニア高地Huliの死亡構造                         | 佐藤龍三郎 (公衆衛生院)    |
| 26. ニューギニア高地における人口支持力、適度人口及びBoserupモデル           | 梅崎 昌裕 (東京大学)     |
| 27. 中国の社会主義市場経済と人口政策のあり方                         | 中沢 港 (東京大学)      |
| 28. スウェーデンの出生動向と社会政策に関する分析                       | 木下 太志 (江南女子短期大学) |
| 29. フランスの家族政策                                    | 尹 豪 (中央大学)       |
| 30. 日本の人口政策                                      | 林 謙治 (国立公衆衛生院)   |
| 31. 世界人口100億論                                    | 岡田 實 (中央大学)      |
| 32. レオンティエフ逆行列を利用した労働力人口の将来分布の推計                 | 岡崎 陽一 (日本大学)     |
| 33. 女性のキャリアと人口学的インパクト                            | 黒田 俊夫 (日本大学)     |
| 34. わが国における職業分布の変動と性別分離                          | 加藤 久和 (電力中央研究所)  |
| 35. 日本人の生活段階と親族数                                 | 小川 直宏 (日本大学)     |
| 36. 高齢者の世帯動態について                                 | 水野 朝夫 (中央大学)     |
|  | 渡邊 吉利 (人口問題研究所)  |
|  | 府川 哲夫 (国立公衆衛生院)  |

なお、明年の第47回大会は、福岡大学において開催される予定である。

## 家族問題研究会大会

第385回家族問題研究会大会が、5月28日日本大学文理学部において開催された。大会では、自由報告ならびに『国際家族年と家族問題—「産む」「育てる」、男と女—』と題してシンポジウムが開催され、多数の会員の参加によって活発な議論がなされた。

なおシンポジウムでは以下の報告があった。

1. 出生率の低下と児童福祉政策 柏女 霊峰 (淑徳大学)
2. 結婚・出産・子育てと女性の就業

—ライフコースの実態と意識—

中野英子・渡邊吉利（人口問題研究所）

3. 主として心理学における母性研究の立場から

—「最近の子どもを愛せない母親」の研究からみえてくるもの—

大日向 雅美（恵泉女学園大学）

4. ECの子育て支援政策との比較から

岩上 真珠（明星大学）

（高橋重郷記）

## 日本経済政策学会第51回大会

日本経済政策学会（会長：野尻武敏大阪学院大学教授）の第51回大会（準備委員長：齊藤昊愛知学院大学教授）が1994年5月28日（土）～29日（日）の二日間にわたって愛知県愛知郡日進町の愛知学院大学日進キャンパスで開かれた。今回は「日本の社会経済システム—新しいパラダイムの構築—」がテーマとなっており、そのテーマの下に初日には共通論題報告・討論が行われ、二日目には準共通論題報告がなされた。また、二日目の自由論題報告 Session 7 として「労働市場」の部会が設けられ、以下の通り、人口関係の報告が行われた。

### Session 7 「労働市場」

〈座長〉 丸谷+史（神戸大学）

(1) 自然失業率の推定に関する試論——システム推定によるアプローチ

〈報告者〉 西村嘉夫（早稲田大学）

〈討論者〉 根津永二（名古屋市立大学）

(2) 結婚・出産退職タイミングの規定要因とその政策的含意

〈報告者〉 小島 宏（人口問題研究所）

〈討論者〉 大淵 寛（中央大学）

(3) 変質する日本の雇用慣行

〈報告者〉 吉田良生（朝日大学）

〈討論者〉 大橋勇雄（名古屋大学）

(1)の報告については失業問題の専門家である水野朝夫中央大学教授からやや厳しいコメントが出されたが、(2)と(3)の報告については指定討論者のコメントが的確だったこともあり、質疑応答が無難に終了した。このほか Session 8 として「地球環境と経済政策」という部会も設けられていたが、人口に直接関係する報告は行われなかった。

（小島 宏記）

## 比較家族史学会第25回研究大会

比較家族史学会第25回研究大会は、6月10日（金）～11日（土）の両日、青山学院大学において開催された。人口問題研究所からは、渡邊吉利、小島宏、西岡八郎の各技官が出席し討論に参加した。

研究報告は自由報告とテーマ報告に分かれて行われたが、今研究大会のテーマ報告は各国に於ける出生・死亡・婚姻等の身分登録制度であり、アメリカ、スイス・オーストリア、イギリス、ドイツにおける身分登録制度および韓国、中国元朝治下の戸籍制度について報告が行われ、日本については古代戸籍、宗門改帳および明治以降の近代戸籍制度と現状の戸籍制度について比較検討が行われた。

身分登録についての制度的検討とともに、イギリスに於ける教区簿冊（安元稔）や日本の宗門改帳の資料的性格（神谷智）および宗門改帳に基づく家族・世帯の分析事例（正岡寛司、藤見純子、嶋崎尚子）など多彩な報告がなされ、活発な議論が交わされた。

（渡邊吉利記）